遷延性意識障害者・家族の会　宮城県ゆずり葉の会　講演会

口腔ケアから始まる関わり
～人と歯と粘膜と会話する～

2026年11月28日（土）　14：00～16：00
（受付開始　13：30）

講師：千木良デンタルクリニック副院長
千木良 あき子 先生

私が日常的に関わってきた障害のある方々の中には、遷延性意識障害の方も含まれます。言葉で思いを伝えることが難しい方と向き合うとき、ご家族や支援者、専門職も「今、何を感じているのだろう」「この関わりでよいのだろうか」と迷うことも少なくないと思います。

口腔ケアは、単に口の中をきれいにするためだけのものではありません。乾燥や不快感を和らげること、呼吸や飲み込みを支えること、感染予防につなげることに加え、「大切にされている」と感じられる関わりの時間にもなります。声をかけ、表情や身体の反応を見守りながら口の中に触れることは、患者さんと周囲の人を結ぶ大切なコミュニケーションの一つです。

私はこれまで、障害児（者）の摂食嚥下リハビリテーションを専門として、地域の臨床の場で多くの患者さんやご家族、医療・介護・教育の専門職の方々と関わってきました。その経験を通して、言葉で意思を表すことが難しい方にも、表情、視線、呼吸、身体の緊張、口の動きなどに、その方らしい反応が現れることを学んできました。こちらが一方的にケアを行うのではなく、そうした反応を受け止めながら関わることが、口腔ケアや食に関わる支援の基本になると感じています。

本研修会では、口腔ケアを一つの入り口として、患者さんの心地よさ、尊厳、そして人との関わりについて、ご家族の皆さまと一緒に考えます。患者さんの小さなサインに気づき、人と歯と粘膜と会話するように関わることの意味を、皆さまと共有できればと思います。

場所：東京エレクトロンホール宮城（宮城県民会館）　601大会議室
仙台市青葉区国分町三丁目3番7号
●仙台市営地下鉄南北線「勾当台公園駅」下車　徒歩5分

要申込　会場参加　定員１００名　zoom参加　定員50名
※参加ご希望の方は下記事務局までお申込み下さい。
申込締切：１１月25日（水）

この講演会は日本損害保険協会助成事業のため参加費無料です

〈主　催〉　遷延性意識障害者・家族の会「宮城県ゆずり葉の会」
〈共　催〉　日本意識障害学会、全国遷延性意識障害者・家族の会
〈後　援〉　宮城県）、仙台市、河北新報社、
宮城県医療ソーシャルワーカー協会

お申し込み
お問い合わせ
宮城県ゆずり葉の会　事務局（園田）
TEL：090-8345-5177
E-mail：ksonoda@mist.ocn.ne.jp